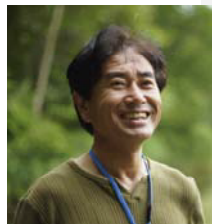


2014 ふくしまキッズ冬プログラム開催概要



1. 実行委員長挨拶

「体験教育プログラム、11回目のふくしまキッズ！冬の活動参加にあたって」

ふくしまキッズ実行委員会 委員長 進士 徹

2011年3月11日に発生した東日本大震災・原発事故から3年7ヶ月が経過しました。この冬の活動で早くも11回目のふくしまキッズ実施となります。

毎回活動前に思う事ですが、震災初年度の夏のことは決して忘れません。518人の子も達が、北海道各地で温かく迎え入れられ、放射線の不安から解放された子ども達は元気を取り戻すことが出来ました。

そのための実行委員会メンバーは、まさに疾走して受入体制を緊急に整え、連絡連携を構築しながらはじめの一步を踏み出しました。活動の意義は、福島の子も達が元気に成長を遂げること。さらに受け入れてくれた地域も大変なご苦勞のある中、人の輪が広がったり、伝統行事が再現されたり……地域にもプラスの効果が出てきました。

参加する前にお伝えしたい事は、ふくしまキッズは単なる保養プログラムではないということです。この夏に初参加されたお子さんが、保養のプログラムと思って参加したのでしょうか。滞在期間中とても苦痛に感じたという、共同生活する中で自主的、積極的にプログラムに参加するスタイルに戸惑ってしまったという報告を聞きました。ふくしまキッズは活動の中から、子ども達が共同生活や、様々な体験活動を通して、生きる上で大切な事をたくさん習得する内容で進行していきます。放任に近い保養プログラムではないということです。そのことを正しく理解し、認識して参加準備を進めて欲しいです。特に初参加のご家庭には、強調してお伝えしたいところです。このことも震災から時間の経過が長期化しているが故の現象かもしれません。受入地の関わるスタッフや大人、ボランティア一人一人にもその責務のあることは自覚して準備を進めています。

村岡花子さんの生き方がNHK連続ドラマになりました。有名な「赤毛のアン」の翻訳者です。「曲がり角の先になにがあるかわからないの……！！」常に希望を抱き、今は大変だけれど、きっとその先には希望があることを信じて生きましょう！！とすることを私たちにメッセージ送ってくれていた気がします。福島の今は、見えない放射線の不安は簡単には解決出来ることではありません。ふくしまキッズの活動は、きっと曲がり角の先にある事が、みんなの希望なのか……！！そんな気がします。たくさんの経験をつみながら、確実に心豊かに育つ階段を一步一步最高の冬休みになる事を願っています。

2.ふくしまキッズの基本理念

本プログラム(「ふくしまキッズ」)は、福島原発事故により深刻な影響を受けている福島の子どもたちに、せめて学校長期休暇期間に、放射能の心配をすることなく思いっきり遊び、子どもらしくのびのび過ごすことのできる環境を提供することを基本の目的としています。また同時に、「ふくしまキッズ」の活動で子どもたちの「学びと育ち」を支援する各種教育事業を実施し、復興福島を担う人材を育成することを目的とします。

この事業計画にご賛同いただいた福島在住の保護者の方々のお子様たちを対象にしております。基本的には希望者全員をお引き受けすることを原則とし、受け入れ先についてはふくしまキッズ実行委員会での選考により決定いたします。

本プログラム実施にかかわる諸経費は、全国の皆さまからの支援金で賄います。こうして、多くの皆さまの支援のもと、本プログラムを継続的に実施することで、支援の輪を徐々に広めながら、「子どもを社会で育てる」という機運を高めていきたいと思っております。

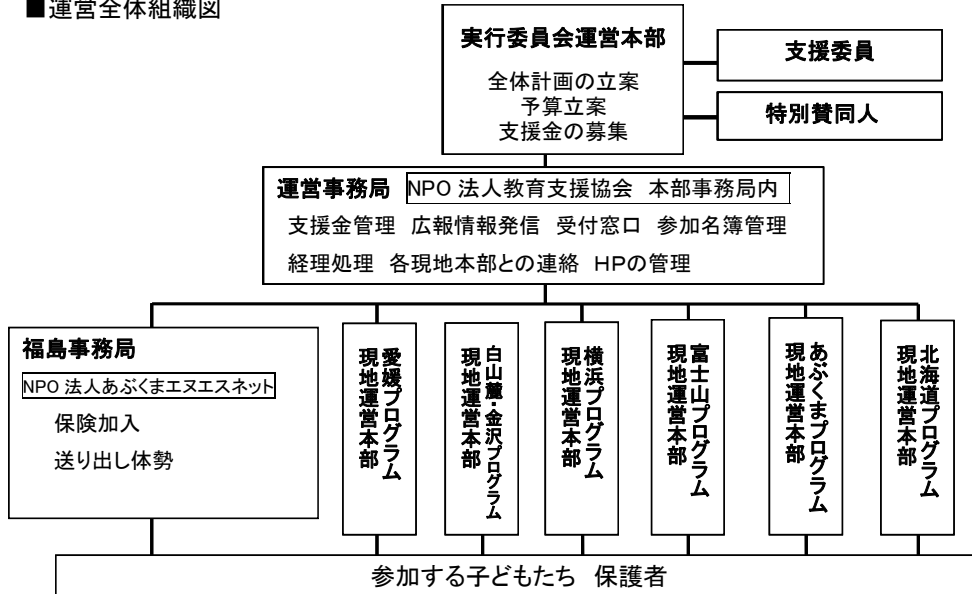
このように「ふくしまキッズ」の活動では、世界中の方々からこの活動を支えていただくために支援金を募集しておりますが、保護者の皆様にも子どもたちの活動へ「参加費」としてご負担をお願いしております。(ただし、生活保護家庭は全額無償としておりますので、対象となる方はお申し出ください。)

事業実施にあたっては実行委員会が、本プログラムの活動趣旨に賛同したうえで協力関係を築いていただける受け入れ地(受入協議会)と協働して、運営します。



3. 2014 ふくしまキッズ冬のプログラム運営体制

■運営全体組織図



■運営・主催・体制

主催 : ふくしまキッズ実行委員会

事務局 : 特定非営利活動法人教育支援協会 本部事務局

神奈川県横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 9階 フリースペースみなみ内

TEL: 045-243-3860 FAX: 045-243-6841 E-mail: info@fukushima-kids.org

北海道プログラム	現地本部	NPO 法人 ねおす
札幌市中央区南 3 条西 17 丁目 291 すずかけビル 3F		
TEL: 011-615-3923 Email: npo@neos.gr.jp URL: www.neos.gr.jp		
あぶくまプログラム	現地本部	NPO 法人あぶくまエヌエスネット
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂東野字葉貫 57 NPO あぶくまエヌエスネット		
TEL: 0247-48-2508 FAX: 0247-57-5775		
富士山プログラム	現地本部	ホールアース自然学校
静岡県富士宮市下柚野 165		
TEL: 0544-66-0152 FAX: 0544-67-0567		
白山麓・金沢プログラム	現地本部	ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎)
〒920-2113 石川県白山市八幡町 367-2		
TEL: 080-4254-7811 Email: info.jirobata@gmail.com		
横浜プログラム	現地本部	NPO 法人教育支援協会
横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 9階 フリースペースみなみ内		
TEL: 045-243-6840 FAX: 045-243-6841		
愛媛プログラム	現地本部	子どもの絆プロジェクト
愛媛県今治市桜井 3丁目 6-8		愛媛県今治市桜井公民館
TEL 兼 FAX: 0898-48-0001 問合せ: 090-1174-8252		

ふくしまキッズ実行委員会

委員長：進士 徹	(NPO あぶくまエヌエスネット理事長)	全体総括・福島県内活動受け入れ担当
副委員長：吉田 博彦	(NPO 教育支援協会代表理事)	事務局長・支援金募集・渉外担当
実行委員：宮本 英樹	(NPO ねおす理事)	常任実行委員
実行委員：安江 こずゑ	(NPO 教育支援協会北海道代表理事)	常任実行委員
実行委員：上田 融	(NPO ねおす理事)	北海道受け入れ担当
実行委員：村瀬 容子	(ホールアース自然学校)	静岡受け入れ担当
実行委員：奥田 宏明	(NPO 教育支援協会)	横浜受け入れ担当
実行委員：中嶋 謙仁	(ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎))	石川受け入れ担当
実行委員：青野 信久	(子どもの絆プロジェクト)	愛媛受け入れ担当
監査委員：金野 栄太郎	(公認会計士)	会計管理・決算管理担当

ふくしまキッズ支援委員

玄侑 宗久	(作家・震災復興構想会議委員)
白石 康次郎	(海洋冒険家)
ジョン・ギャスライト	(ツリークライミングジャパン)
田口 ランディ	(作家)
寺脇 研	(京都造形芸術大学教授)
戸塚 隆	(ジャーナリスト)
中島 岳志	(北海道大学大学院法学研究科准教授)
藤田 保	(立教大学教授)
矢吹 俊男	(北海道公民館協会事務局長)
湯川 れい子	(音楽評論、作詞家)
吉田 研作	(上智大学教授)

(50音順、敬称略)

ふくしまキッズ特別賛同人

秋山 豊寛	(ジャーナリスト・宇宙飛行士・京都造形芸術大学教授)
荒井 満	(作家・作詞作曲家)
鎌田 實	(医師・作家)
小林 武史	(音楽家・ap bank 代表理事)
坂本 龍一	(音楽家)
西田 敏行	(俳優)
日野原 重明	(聖路加国際病院理事長・日本音楽療法学会理事長)
細川 佳代子	(NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2012 理事長)
吉永 小百合	(俳優)

(50音順、敬称略)

2014 ふくしまキッズ冬プログラムについて

各コース日程について

冬プログラムは、福島県内・県外 5地域にて開催いたします。

- (1) 「北海道プログラム」 北海道(主要拠点:七飯町大沼・三笠市)
2014年12月23日(火)～12月29日(月) 6泊7日
- (2) 「あぶくまプログラム」 福島県(主要拠点:東白川郡鮫川村)
2014年12月23日(火)～12月28日(日) 最長 5泊6日
- (3) 「横浜プログラム」 神奈川県(主要拠点:横浜市)
2014年12月23日(火)～12月29日(月) 6泊7日
- (4) 「白山麓・金沢プログラム」 石川県(主要拠点:白山市)
2014年12月23日(火)～12月29日(月) 6泊7日
- (5) 「富士山プログラム」 静岡県(主要拠点:富士宮市)
2014年12月23日(火)～12月30日(火) 7泊8日
- (6) 「愛媛プログラム」 愛媛県(主要拠点:八幡市・宇和島市・松山市)
2014年12月23日(火)～12月30日(火) 7泊8日

ふくしまメッセージについて

皆さんの福島原発事故から今に至る心の有り様を、引き受けていただく地域の方々にわかるように、そのまま書いてください。メッセージは参加するお子さま、保護者の方のそれぞれでお書きいただき、参加当日に必ずお持ちください。

内容については、1～4を参考にしてください。

- 1.子どもながらに感じる事。保護者の方は、福島で生きなければならない人生の選択。
- 2.お世話になる受入れ地の子どもたち、地域の人たちへメッセージを。
- 3.ふくしまキッズの活動で思うこと。
- 4.支援金の寄付で活動を応援してくれた方々へ向けて・・・。

機会を設けて、受入れ地で発表していただく予定です。

ふくしまメッセージは、10年後、30年後、100年後の未来に伝える貴重なメッセージとなるはずです。ふくしまキッズ実行委員会のHPにも掲載させていただきます。

参加費について

北海道プログラム・横浜プログラム・富士山プログラム・白山麓・金沢プログラム・愛媛プログラム

子ども一人につき3万円

あぶくまプログラム

子ども一人につき5万円

生活保護家庭を受給されているご家庭へ
生活保護を受給されているご家庭については参加費全額無料とさせていただきますので、
生活保護受給者証の写しを、事務局まで提出してください。

●キャンセルについて

1) キャンセルをされる場合は、メール・FAX・郵送のいずれかで必ずご連絡ください。お電話でのキャンセルは承っておりません。キャンセルの際は出発日を基準とし、以下のキャンセル手数料を申し受けます。なお、返金手数料として一律 2,000 円(振込み手数料+諸経費)を申し受けます。

愛媛プログラム(飛行機利用)

出発日の21日前から9日前まで	30%
出発日の8日前から2日前まで	50%
出発日前日	70%
出発当日以降	100%

その他のプログラム(JR・バス利用)

出発日の16日前から13日前まで	30%
出発日の12日前から2日前まで	50%
出発前日・当日以降	100%

- 事務局に書類・メール・FAX などが到着し確認できた時点でキャンセルの受理といたします。参加費を納入しないことはキャンセルの意志表示にはなりませんので、ご注意ください。
- キャンセル後の返金は冬プログラムの全日程終了後(平成 27 年 1 月 6 日以降)の処理になります。
- 出発時に遅刻しプログラムに参加できない場合は当日キャンセルの扱いとなります。
- 当日キャンセルの場合は、集合場所に保護者の方がおいでいただくか、コースごとの担当者へ出発時間前までにご連絡ください。

安全管理や医療体制について

●主催者側が活動を中止と判断した場合

- 1) 自然災害(地震・台風・大雪など)やその他の理由(インフルエンザ・開催地に深刻な被害のある場合など)により主催者側で安全にプログラムが実施することが困難と判断した場合、申込書に記載いただいたご連絡先(FAX・E-mail・電話)に直接ご連絡いたします。
- 2) 主催者側がプログラムの中止を事前に判断した場合、参加費より返金手数料(一律2,000円)を除いた金額をご返金いたします。プログラム開始後の自然災害など不可抗力要因により活動期日を短縮した場合にはご返金しかねますのであらかじめご承知おきください。

●安全管理

- 1) 各種活動フィールド、施設、移手段等は、基本的に安全確認済みです。
- 2) 活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じ、また活動中は同様にスタッフが細心の注意を払いますが、100%事故が起きない保障はできません。万が一に備えて主催者側で傷害保険に加入いたします。

●傷害保険

- 1) 有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、当該保険の範囲で補償いたします。なお、疾病は適用外となります。

保険加入内容: 日本アウトドアネットワーク野外活動包括保険

入院保険金: 5,000円/日(180日限度) 通院保険金: 3,000円/日(90日限度) 救援者費用: 100万円(上限)

- 2) 活動中の通院につきましては、一旦実費負担となります。また1回の通院にかかわる手配同行手数料(2,000円)も合わせてご負担いただきます。ご家庭へは後日清算させていただきます。

●緊急医療体制

- 1) 主催者、及び指導者は安全確保を最優先いたしますが、参加者も自己責任をモットーに行動してください。事故発生時には各地で組んでいる緊急医療体制に従って対応します。
- 2) 傷害保険に加入しています。万一、事故が起きたときは当該保険の範囲での保証になります。ご了承ください。
- 3) 期間中の持病の発病や本人の不注意によって生じた事故については、主催者及び指導者は責任を負いません。病気やケガ、精神的な理由により帰宅させるのが望ましい状況になった場合は、速やかにご家庭に連絡を入れ、ご相談したうえで対応いたします。お子さまにやむをえず帰宅いただく際は、原則保護者にお迎えに来ていただけます。保護者のお迎えが困難な場合は、運営側で引率しますが、この場合実費交通費を後日ご請求させていただきます。その際参加費の返金はいませんのであらかじめご承知おきください。

●保険証のコピー

- 1) 健康保険証コピーをご持参ください。
※健康保険証のコピーは、封筒に入れてのりづけし、封筒表に「保険証等コピー」と記載、参加者(子ども)の氏名を明記しご提出ください。兄弟姉妹でご参加いただく場合でも、健康保険証のコピーは別々にご準備ください。
- 3) 病院によっては、コピーした健康保険証では保険の適用を行わないことがあります。その場合には全額自己負担となりますが、後日「療養費」として払い戻しを受けることができます。

●指導者

運営本部と現地本部運営団体と委託協力契約を結びます。開催受入地では、プログラム全体運営、宿泊手配、食事手配、医療環境整備など進めます。受入地で多くの協力を得ながらプログラムの指導体制を構築し、安全に子どもたちが楽しく生活を送れるように支援していきます。子どもたちの生活班、活動班に直接配属され、生活面(食事、入浴、就寝、体調の管理など)から活動に至るまでの全てのプログラムについての安全管理をしていきます。

持ち物について

●荷づくりにあたり

- 1)コースによりご持参いただく荷物が違います。細部ご確認をお願いいたします。
- 2)持ち物は、保護者だけで準備せずにお子さまに荷づくりをさせてください。準備の段階からすでに活動は始まっています。
- 3)ご家庭で何度も荷物整理の訓練をしてください。くれぐれも忘れ物がないようお願いいたします。
- 4)着替えは1日ごとに袋に入れてください。お子さん本人も把握しやすいです。
- 5)必ず所持品全てに名前を記入してください。忘れ物を出さないためにもお願いします。
- 6)荷物は日常使っているものを持たせてください。(新しい物は、お子さんが自分の物の認識が薄くなる傾向があります。)

●持ってきてはいけないもののリスト

- ゲーム機、個人で遊べてしまうもの
 - 携帯電話、個人で連絡を取れるもの
 - 貴重品、不必要な現金(時計など高価なものやなくて困るようなもの)
 - マッチ、ライター、ナイフ類
- ※お友達と一緒に遊べるもの(トランプなど)はお持ちになっても構いません。

●薬について

薬は、原則自己管理となります。スタッフが食後などに声かけはしますが、現在服用している薬がある場合には、事前に用法をお子さまによくご説明ください。持参する薬は普段飲み慣れているものにしてください。特別な薬を服用する場合は、薬と処方箋をいっしょに袋に入れ、必ず名前をご記入ください。持参した薬は決して他の子どもにも与えないよう、ご家庭でもお子さまにお伝えください。

●持ち物の紛失等について

持ち物の紛失、破損(汚れを含む)についての責任は負いかねますので、予めご承知おきください。本人の責任においてお取り扱いください。

●初日のお弁当について

初日のお弁当は、「**おにぎりもしくはサンドイッチ**」で統一します。必ず当日作るようにしてください。ゴミの減量にご配慮のほどよろしくお願いいたします。

保護者のみなさまへ

●毎日の活動の様子

活動最中の様子は、ふくしまキッズのホームページからご覧いただけます。
ふくしまキッズホームページ URL <http://fukushima-kids.org/>

●保護者の方へお願い

- 1)事前にインフルエンザの予防接種を受けるようお願いいたします。
- 2)お子さんが一時家を離れることとなります。ご家庭でも事前に勇気づける言葉をかけてください。また帰宅する日は、お出迎えをお願いします。温かい言葉をかけてください。

●個人情報保護について

- 1)参加申込情報、健康調査情報、保険証の写しについては、受入地で管理・保管して、参加者の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
- 2)今後事務局よりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等により送信もしくは送付させていただきますが、参加者のお申し出があれば、これらの取扱いを中止することができます。
- 3)活動期間中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては主催者側でHPやパンフレットなどの活動報告のために使用する事がございますので、あらかじめご了承ください(撮影は原則主催者のみ行います)。ただし、氏名・住所等の掲載・公開は一切いたしません。
- 4)活動期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際、インタビューを受けたお子さまの氏名などが掲載される場合もございますので、あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
- 5)写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方は予め事務局までご連絡ください。

Q&A

Q: 4歳児がいますが、兄妹と一緒にならば親なしで参加可能ですか？

A: 幼児の場合、保護者が同伴でないと精神的な問題で宿泊などができないことが多くあります。そのため、小学生の兄弟と一緒にでも、小学生未満が参加するときは、親の同伴なしで参加することはできません。

Q: 福島県内に住所をおいてあるが、現在県外に避難しています。参加できますか？

A: 「福島県内に現在でも在住」の方を対象としていますので、参加対象外となります。

Q: 持病があり、自分で薬を服用したり、注射をします。その場合本人がきちんとできますが、スタッフも子どもと一緒にしてほしいのですが？

A: 体調管理として、毎日体調チェック表を作るようにします。スタッフも期間中確認する態勢でのぞみます。

Q: 子どもがまだ幼いので、お風呂などの時にはボランティアの方が一緒に入ったりするのでしょうか？

A: 基本的に生活には学生ボランティアがつかますので、大丈夫です。ご安心ください。

Q: 体の不具合はなく活発ですが、ちょっと恐がりなところがあり、プログラムを全て参加できるかわかりません。なにしろ集団生活なので心配だけです。

A: プログラムの参加は、ある程度柔軟に考えています。できる限り、体験プログラムは子どもの自主性を重んじ、自由に選べるようにしています。

Q: 集合解散場所までひとりで行かせてもよろしいでしょうか？

A: 小学生の参加者はお手数ですが、保護者もしくはそれに代わる方の付き添いをお願いいたします。中学生は保護者が大丈夫と判断された場合は、事務局に連絡した上で受け入れることにします。

Q: 健康管理、安全管理についてはどうなっていますか？

A: 体調管理については、プログラム開催中毎日『体調チェック票』を使ってその日の体調をリーダーが把握できるようにしています。また、現地のスタッフが活動場所を事前に下見して、危険箇所の確認をしています。

Q: 『おねしょ』が心配なのですが、大丈夫でしょうか？

A: 環境が変わると普段心配ないお子さまでもおねしょをしてしまうことはあります。心配な場合は健康調査書にその旨をご記入いただければスタッフが夜中に子どもを起こしてトイレに連れて行くなど対応します。やむを得ず貸出寝具を汚してしまった際、場合によってはクリーニング代を請求させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q: 子どもに家へ電話させたいのですが、できますか？

A: ご家庭と電話連絡をとることは、お子さまの自立心を育てる妨げになりますので禁止させていただいております。なお緊急時には、現地事務局にご連絡ください。

Q: 乗り物酔いしやすいのですが…

A: 乗り物酔いをしやすい方は、酔い止めの薬を持たせてください。また、行きはご家庭で酔い止め薬を飲ませてください。帰りは、現地出発前にスタッフが子どもたちに酔い止め薬を飲むように伝えます。

Q: 現地でお土産を買ってもいいですか？

A: お土産を買う希望があれば行きます。ただし高価な物は控えるように指導します。

Q: お小遣いはどのくらい持っていけばよいですか？

A: 1000円～5000円程度でお願いいたします。お小遣いを使う場面としては、喉が渴いた際の飲み物を買う時や、お土産を買う程度です。財布は自己管理を基本としますが、必要な場合はリーダーが管理します。

Q: 解散の時にお迎えにいけません。友達の保護者に頼んでもいいですか？

A: お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず事前に事務局までご連絡をください。急な場合は直接受入地担当者へご連絡ください。

開催プログラム コース別詳細

北海道プログラム

北海道 大沼コースについて

1. 開催日: 12月23日(火・祝)～12月29日(月) (6泊7日) ※全日程参加が条件

2. 参加対象者と人数: 小学校1年～中学3年生 定員60名

3. プログラム内容

美しい駒ヶ岳と大沼がある自然のフィールドを満喫します。大沼のポイントは何と言っても個性あふれる学生・社会人ボランティアのキャラクター！何度も大沼で活動しているボランティアなので安心・安全、そしてたくましく毎日を過ごすことができます。総勢100名近い大所帯で過ごす1週間は大家族の生活、大人も子どもも集団生活を通して大きく成長していきます。そして活動のメインとなる流山温泉では毎日薪ストーブで火をおこすことから一日が始まります。隣接する牧場には山羊や馬やウサギが暮らしていて動物たちとのふれあいやお世話も楽しみの1つです。暖をとるために使った薪は次に来るときのために補充します、森からみんなで木を切り出した薪割り体験です。日頃あまりやらないお手伝いやお仕事もここでは子どもたちの遊びです。大沼ではなにか特別なことを用意して遊ばせるのではなく、「自らが考えて遊ぶ」ことを大切にプログラムを展開しています。子どもたちがその時何をしたいか？たき火がしたい、凍った沼で遊んでみたい、雪で思いきり遊びたい、そりすべりがしたい、そんな思いを共有します。その中でも雪の中でのドラム缶風呂や雪上サウナ、大沼が凍っているかどうかを確かめる氷上探検、雪の中での野外宿泊などここでしかできないこともたくさんです。

クリスマスが終わったら道南地域へ仲間と一緒に合宿・家庭への民泊にお出かけします。家庭や地域の方たちとその土地ならではの活動を体験し、人々の温かさに触れる地域交流をします。大沼や道南地域を大満喫する6泊7日です。

日にち	内 容	備考
12月23日	火 郡山・福島よりJRで移動 荷物整理、全体レクリエーション	生活のリズムを整えます。 ◆青少年宿泊施設「ネイパル森」宿泊
12月24日	水 自然体験・選択遊び	思いきり雪遊びを楽しみます。 ◆青少年宿泊施設「ネイパル森」宿泊
12月25日	木 生活の時間・自然体験・選択遊び クリスマスパーティー	雪遊び・馬の世話 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
12月26日	金 道南地域の合宿・民泊へ	受け入れ先での活動 ◆民泊・合宿
12月27日	土 道南地域の合宿・民泊へ	受け入れ先での活動 ◆民泊・合宿
12月28日	日 道南地域の合宿・民泊へ さよならパーティー	最後の雪遊びを楽しみます ◆大沼ふるさとの森自然学校など宿泊
12月29日	月 朝食後JRで福島・郡山へ	

※ 荒天時や積雪状況によってプログラム内容は変更となります、ご了承ください。

※ 民泊・合宿は地域の事情によりスケジュールなどの変更がございます。